

北陸新幹線を活かしたまちづくりを考える市民集会 「新幹線講座」を開催しました

平成30年11月23日(金・祝)に、働く婦人の家で、新幹線沿線のまちづくりの研究者(青森大学 櫛引素夫氏)や、新幹線停車駅前で商業施設を運営する事業者(株式会社 北信越地域資源研究所 平原匡氏)を招き、講演会を行いました。

<講演概要>

○『新幹線は手段』

新幹線を使って「実現したい暮らし」や「守りたい社会」を実現するという視点が重要である。

○『行ったり来たり社会の実現』

新幹線が開業すれば、市外と自由に行き来でき、多様で自由な生き方が可能となる。

○『地元が力強くまちをつかっていく』

新幹線開業に向け誘致も重要であるが、自分たちが力強くまちをつくるのが持続可能なまちをつくる上で重要である。

<意見交換・アンケート結果>

- ・敦賀開業時に小浜がどんな存在感を出せるかが課題。
- ・「田舎暮らしと都市の暮らしが両立できるまち」や「京阪神に通勤でき、若い世代が住みやすいまち」になると良い。

その他のご意見やご提案は、市公式ホームページで公開中
<http://www1.city.obama.fukui.jp/category/page.asp?Page=4078>



開催チラシ



講演の様子